

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「分散投資についての偉大なる投資家の意見」

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「長期」「分散」「積立」は、投資の三大原則として広くその実践が推奨されています。しかし、史上最も偉大な投資家と言われるアメリカのウォーレン・バフェット氏は、分散投資が資産を大きく増やすための手段とは認めていませんでした。近年こそ、バフェット氏は投資のプロでない人に、米国株の S&P500 のインデックスファンドを奨めています。しかし、彼自身の運用は未だに、保有上位 10 銘柄で運用資産全体の 9 割近くを占めるような、限られた銘柄への集中投資を旨としています。以下が、バフェット氏の分散投資についての考えです。日本人にはあまり見られない機知に富んでいます。

(ウォーレン・バフェットは語る ジャネット・ロウ著 1997 年より)

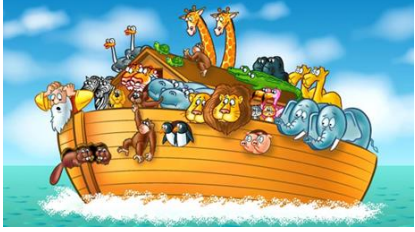
1. 「分散投資は無知に対する防衛だ。自分たちの行動を理解している者にとってほとんど意味が無い」(1996 年 バークシャー・ハサウェイ年次株主総会)
2. 「世界の莫大な富は、一つの素晴らしいビジネスを保有し続けたことで生まれた。それ程沢山持つ必要は無い」(1996 年 ニューヨーク証券分析協会)
3. 「もしあなたが 40 人の女性のハーレムを持っていたら、誰のこともよくわからない」(バフェット氏が過度な分散投資の結果を説明するために引用した、ブロードウェイの興行主ビリー・ローズ氏 (写真) の言葉。1991 年 ロサンゼルス・タイムズ)
4. 「私は、50 とか 75 のものに関わることはできない。それは、ノアの方舟式の運用方法だ。そんなことをしたら動物園になってしまう。私は、意味のある金額のお金を少数の会社に投資したい」(1987 年 ウォール・ストリート・ジャーナル)



ウォーレン・バフェット



ビリー・ローズ



ノアの方舟

どうやらプロとは、家の中でも金融資産でも、意味のあるものだけに「片づけられる人」のようですね。私たちは、多分散らかし過ぎています。